

科目名	共生教育研究	担当教員	全専任教員
科目属性	基幹科目	単位数	2単位 (SC 0.5単位)
<p><b>【授業の狙い】</b></p> <p><b>【概要】</b></p> <p>星槎の理念である「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」について考え、共有し、「共生教育」の基盤を構築する。社会のあらゆる分野において、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」人材の育成は、「共生教育」にとって不可欠であろう。対話と省察を繰り返し、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」ために必要な能力とはなにか、共生に必要な能力を獲得するための「教育」「学習」とはなにかを考察し、表明する。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の5つとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの実践や教育に係る「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」視点を学修する。</li> <li>2. 「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」など、共生に必要な能力、自己・他者理解、社会理解を学修する。</li> <li>3. 社会のあらゆる分野において、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」など、共生に必要な能力を獲得する共生教育について考察し、共有する。</li> <li>4. 各自が教育実践している場（研究フィールド）における「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」とは何かを説明できる。</li> <li>5. 各自が教育実践している場（研究フィールド）における「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」など、共生に必要な能力を高めるための共生教育とは何かについて説明できる。</li> </ol>			
<p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2～5. 共生教育についての論考を読む <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル技術へのアクセスと生の持続可能性（斎藤俊則）</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの有効性と課題（坂田映子）</li> <li>○教え育てることに潜む「できない」と「できる」のあいだを考える（古壕典洋）</li> <li>○「利他」について考える（松浦均）</li> <li>○フェイクあふれる社会でどう生きるか（佐々木伸）</li> <li>○「好き」「役に立つ」という磁場（堀川徹）</li> <li>○東日本大震災から共生を考える-発達障害児(者)の避難生活に視点を当てて-（千田光久）</li> <li>○インクルージョン教育~障害の有無だけではなく、人種、性別、年齢、経済状況などニーズの多様性を認めるために。（西永堅）</li> <li>○高齢者の健康の維持・向上を見据えた共生（澁木琢磨）</li> </ul> </li> <li>6. 各教員の論考に対する意見を検討する</li> <li>7～13. 共生教育についての討議</li> <li>14. 人を認める、人を排除しない、仲間を作る資質・能力とは何かについて考察する（スクーリング）</li> <li>15. まとめ</li> </ol>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>レポート 25%、スクーリング 25%、科目修得試験 50%。</p>			
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>各教員から提供された教材</p>			
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>なし</p>			